

### 新しい風に 活気あふれるまち

- 商工振興対策費 1,596万円  
(※ポイントカードシステム導入事業助成、商工連合会法人組織化準備事業補助、商工連合会活動費補助金、経済講演会および経営講座の開催)
- 金融対策費 7,542万円  
(中小企業振興融資制度保証料補助および利子補給)
- 消費生活対策費 136万円  
(※消費者通信講座の開催)
- 観光推進費 148万円  
(ふるさと産品推進事業補助、観光史跡案内板の設置)
- 向日市まつり助成費 350万円
- 勤労者住宅資金融資費 1億8,056万円

- ※勝山中学校屋内運動場建設事業費 2億9,308万円
- 障害児学級費(小学校)244万円(中学校)188万円
- 要保護・準要保護児童・生徒援助費  
(小学校)700万円(中学校)370万円
- 教育助成費(小学校)1,616万円(中学校)1,784万円
- ※外国青年招致事業費 627万円



軽スポーツの普及を進めます

- 社会教育活動費 532万円  
(※市民生涯学習指導者養成事業、生涯学習啓発講演会の開催、社会同和教育冊子の発行、女性教育啓発講演会の開催)
- 青少年健全育成費 698万円  
(障害者青年教室の開催、ふれあいコンサートの開催、ジュニアリーダー養成講座、キャンプ教室等の開催)
- 留守家庭児童会育成事業費 8,759万円
- 公民館運営費(中央・地区) 4,859万円  
(※夏休みこどもマンガ教室、※国際交流講座、※鶏

### 人と人とのふれあいを 大切にするまち

人と人とのふれあいを通して、互いの人権が尊重でき、かつ文化的な環境のもとで、心の豊かさが感じられる、誰もが「ふるさと」として住み続けたいと思うまちを築きます。

人権思想の普及啓発に努め、国際交流や平和への理解を通じ、人と人とのふれあいを大切にする社会を育て市民の自主的なコミュニティ活動や交流を進めます。

文化振興では、かぐや姫行列や向日かぐや太鼓の定着化に努め、市民文化の創造に寄与する事業の充実を図ります。

また、女性のつどいやまちづくりフォーラムなどを通じ、市民参加による市政の推進に努めます。

- コミュニティセンター管理費 3,367万円  
(※向日コミセン管理委託)
- 自治振興費 3,915万円  
(自治振興補助金・自治会運営補助金・自治振興特別補助金、集会所新築等補助)
- 女性政策推進事業費 301万円  
(女性のつどいの開催、まちづくりフォーラムの開催、「向日市女性政策21世紀プラン」改訂版の発行)
- 広聴費 264万円  
(人権啓発、市民相談・困りごと相談)

- 労働諸事業費 2,388万円  
(※勤乙訓勤労者福祉サービスセンター管理運営費補助、※同センター出捐金)



コスモス園など農業振興にも取り組んでいます

- 都市計画  
○都市計画事務費 1億1,145万円  
(向日市マスタープランの作成、※都市計画基礎調査委託)
- 市街地再開発事業 935万円  
(東向日駅西口地区市街地再開発推進業務委託)

- 冠井公民館事務室拡張工事)
- 文化財保護事業費 1億2,080万円  
(副埋蔵文化財センター運営補助、物集女車塚古墳管理、京都府指定文化財須田家住宅改修補助、市内指定文化財維持管理費補助、物集女城跡発掘調査)
- 図書館管理運営費・読書推進事業費 8,663万円  
(※視覚障害者用拡大読書機の購入、展覧会・古典文学講座の開催)
- 資料館運営費・文化活動推進事業費、調査収集展示事業費 4,691万円  
(古文書調査、整理及び報告書の作成、特別展・企画展の開催)
- 天文館管理運営費・天文館学習推進事業費 5,033万円  
(※星の散歩道の実施、※星空宅配便の実施)

- スポーツ振興  
○向日市交流活動公社費 3,931万円  
(※市民体育館10周年記念「市民体育館10周年のあゆみ」冊子の作成、記念写真展の開催)
- 市民体育館管理運営費 4,568万円
- 市民温水プール管理運営費 1億837万円
- 市民スポーツ振興事業費 2,546万円  
(※家族健康づくり大会の実施、軽スポーツ交流大会分担金、勤向日市体育協会運営・事業補助、地区体育大会補助・スポーツ団体育成補助)
- 生涯スポーツ普及事業費 90万円  
(各種スポーツ教室の開催、コミュニティースポーツ研修・講習会開催、地域軽スポーツフェアの開催、女性スポーツ研修会の開催)
- 高校総体開催事業費 1,841万円

- 国際交流費 952万円  
(※杭州市寄贈「平和の使者」像設置、サラトガ市交換学生事業費補助、杭州市国際友好西湖マラソン参加)
- 世界平和都市宣言啓発事業費 166万円  
(向日市民平和のつどいの開催、※平和の樹の植樹、※子ども平和映画会の開催)



華麗な王朝絵巻「かぐや姫行列」

- 文化振興事業費 605万円  
(かぐや姫行列の実施、向日かぐや太鼓の普及・発展、かぐや姫サミットへの参加、※(仮称)三川合流ドラマチックフィールド推進協議会分担金)
- 市民会館運営費・事業費 3,692万円  
(市民音楽祭・古典落語会・音楽コンサート)
- 企画事務費 231万円  
(行財政改善方策の策定)
- 改善計画推進費 4,523万円  
(向日市住民情報システム業務の推進)
- 庁舎建設事業費 8,530万円(庁舎西別館の建設)

### 平成8年度

## 施政方針

向日市長 岡崎誠之



私は、市政運営に当たりましては、憲法と地方自治の理念に基づき、一党一派に偏しない市民本位の市政を基本に、明るく開かれた市政運営に努めてまいります。また、京都府並びに近隣市町と協調のもと、本市を福祉・文化の香り高い定住都市が実感できるまちに築き上げたく存じています。

21世紀の到来を間近に控え、人生80年時代が現実となった今日、市民一人ひとりが、ゆとりと豊かさを実感できる身近な暮らしの充実がまちづくりの重要な課題となっております。

こうした中で、私は、人の暮らしにとって大きな意味をもつ「健康」をまちづくりの重要な柱に据え、子供からお年寄りまで『市民みんなの笑顔が輝く健康都市』の実現に向けた諸施策を積極的に推進します。

そのためにも、長期的な視点に立って、高齢化社会への対応をはじめ、市民生活に密着した社会基盤整備などさまざまな課題に計画的に対処するとともに、市民に親しまれる市役所づくり、社会の変化に対応した簡素で効率的な行政の確立に向け、行財政改革の推進に全力で取り組んでまいります。

現下の地方を取り巻く状況は、極めて厳しいものがありますが私はこうした時こそ、大いなる希望と信念をもって、市民の要請に応えてまいりたいと存じます。

### 健康文化と快適なくらしのまち

#### 創造プランとは

我が国は、高齢化の進展、疾病構造の慢性化や環境汚染など、我々の生活を取り巻く環境が大きく変化中、国民のより質の高い生活や人生を求める声が高まり、今、活力のある健康社会をつくるための施策の推進が求められています。



健康とふれあいの場 市民温水プール

わたしたちは、もう一度、まちの機能を見直し、子供からお年寄りまでがおのの年代に応じて、快適な生活が送れるまちづくりを進める必要があります。



健康社会の実現をめざします

そのため、向日市では、個性と特色を活かした「健康」をまちづくりの重要な柱とするプランを作り、市民の健康づくりの支援や、健康で快適な質の高い生活環境を整備し、「向日市に住んで良かった」と思えるまちづくりに取り組みたいと思います。

今年度は、本市が目指す健康都市づくりの指針となる「健康文化と快適なくらしのまち創造プラン」を策定し、今後これに基づいた社会・生活環境等の整備を図ってまいります。「こころの健康」「からだの健康」「まちの健康」の3項目を柱に、健康で快適なくらしの実現をめざすまちづくりに向けてスタートします。